

山陰近畿自動車道の早期完成に関する

要 望 書

平成 26 年 10 月 17 日

兵 庫 県
鳥 取 県

山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市を起点に、兵庫県豊岡市を経由し、京都府宮津市に至る延長約 120km の高速道路である。日本海国土軸を形成する重要な道路であるが、現在、供用・事業中の区間は 50km に過ぎず、残る 70km は事業化にすら至っておらず、高速道路の空白地帯となっている。

この地域は、世界的にも珍しい地質と豊かな自然を有しており、「山陰海岸ジオパーク」として、平成 26 年 9 月に世界ジオパークネットワークに再認定されたところである。本道路は、ジオツーリズムを通じた交流人口の拡大、域内連携の促進など、地域活性化に不可欠である。

また、本道路は、多重型の国土軸を有する災害に強い国土づくりや、救急医療体制の確立などにも寄与するものである。

については、山陰近畿自動車道の早期全線完成に向け、下記事項を要望する。

- 1 補助事業で事業中の岩美道路、浜坂道路について、事業進捗に必要な予算を確保されたい。
- 2 豊岡北 JCT・IC 東側の約 15km については、直轄権限代行による事業化に向け、平成 27 年度に国による計画段階評価を進めるための調査に着手されたい。
- 3 山陰道～福部 IC 間の約 12km については、並行する国道 9 号のバイパスとして、直轄による事業化に向け、平成 27 年度に国による計画段階評価を進めるための調査に着手されたい。
- 4 居組 IC～浜坂 IC 間の約 6km について、引き続き調査推進のための予算を確保されたい。また、佐津 IC～豊岡北 JCT・IC 間の約 11km について、早期の事業化に向けた調査を実施していただきたい。

兵庫県知事 井戸 敏三

鳥取県知事 平井 伸治